

令和7年度 第26回 歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト 募集要項

主催：白石町 主管：白石町教育委員会

募集規定

(1) テーマ 「愛」(思いを託した短歌を募集します。) ※俳句・川柳等は選考対象外です。

(2) 募集期間 令和7年6月2日(月)～9月30日(火)

郵 送 - 9月30日(火) 付けの消印まで有効とします。

郵送以外 - 6月2日(月) 午前8時30分から9月30日(火) 午後5時15分までとします。

(3) 送付先 〒849-1192 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1

白石町教育委員会 生涯学習課内 三十一文字コンテスト担当

(4) 部 門 一般の部、高校生の部、中学生の部、小学生の部

(5) 短 歌 一人2首まで (3首以上投稿されても、3首目以降は選考外とします。)

※自作で未発表の短歌に限ります。月例会やSNS等で発表済み、又は他のコンテスト等に投稿・入賞した短歌、及び盗作・AI生成等は認めません。

※ペンネーム等での投稿は認めません。

・丁寧な字ではっきりと応募用紙枠内に書き、特殊な読みをする漢字にはふりがなを書いてください。

・受理した短歌の訂正、差し替えや返却はいたしません。

(6) 応募方法

● 応募専用紙での投稿。白石町役場ホームページ内からダウンロードできます。応募用紙の郵送料は、応募者負担です。

<https://www.town.shiroishi.lg.jp/jyumin/manabu/misohitomoji.html>

● 投稿フォーム内からの投稿。下記QRコード LOGO フォームから投稿できます。

→投稿フォームの直接リンクはこちらから <https://logoform.jp/form/mZQ5/1056806>

※投稿フォームからの投稿は6月2日午前8時30分から受付を開始します。

(7) 投稿料 無 料



▲応募要項について (HP へ)



▲投稿フォームはこちら

個人情報

このコンテストへの応募により得た個人情報は、コンテストの事務以外では利用せず、情報の管理を徹底します。

選 者

江副壬曳子・貞包雅文・塘 健 (五十音順)

表彰内容

(1) 「歌垣賞」 1首
「最優秀賞」 各部門1首ずつ
「優秀賞」 各部門3首ずつ
「秀 作」 各部門6首ずつ 計41首

(2) 入賞者には賞状・副賞と入賞歌集『歌垣』を贈呈します。
(一般の方は白石町特産物の詰合せ・児童生徒の方は図書カード)



令和7年度 第26回 歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト 募集要項

歌垣

歌垣は、大地が生命
力にあふれる春、そし
て作物が実る秋に、周
辺の村里の若い男女が
神々の住む山に集ま
り、互いの思いを歌で
詠み交した古代の行事
です。

その起源は、『常陸
のくにとき
国風土記』・『摂津国
風土記』逸文・『肥前国
風土記』逸文に、「歌垣」
の内容が記されている
ことから、風土記が
編纂された奈良時代以
前より行われていたと
考えられます。

◎保証と同意

選考結果を公表する前に、入賞者には次の保証と同意をしていただきます。

○入賞短歌が「自作で未発表」であることの保証。

○一般の方は都道府県名と氏名を、児童生徒の方は学校所在地都道府県名・学校名
学年と氏名を、それぞれ入賞歌集『歌垣』及び白石町ホームページへ掲載し、また、
報道機関等へ公開することへの同意。

発 表

- (1) 選考結果は令和8年1月中旬までに、入賞者へ文書でお知らせします。
- (2) 選考に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (3) 入賞短歌の著作権は主催者である白石町の帰属とさせていただきます。

◎その他

選考結果公表後に、入賞短歌が他のコンテストで既に入賞済み、あるいは盗作等であることが
判明した場合は入賞を取り消すとともに、次回以降の投稿は一切受け付けません。

表 彰 式 令和8年2月14日（土）午後2時（予定） 白石町総合センター

名義後援 佐賀新聞社・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社・西日本新聞社・サガテレビ
NHK佐賀放送局・NBCラジオ・エフエム佐賀・株式会社ケーブルワン（順不同）

お問合先 白石町教育委員会 生涯学習課内 三十一文字コンテスト担当
電話 0952-84-7129（直通）



「杵嶋曲」を記す歌碑

令和6年度 第25回 歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト (敬称略)

歌 垣 賞
最 優 秀 賞

もっと強く押してと父にせがんでもずっとやさしい夏のブランコ

一般の部

小水の放物線にみな拍手沐浴終えし赤子のぐるり

高校生の部

遠回り歩いて君を送る夜の尽きない会話道が足りない

中学生の部

パチパチと私の部屋で鳴りひびく迦陵頻伽のそろばんの音

小学生の部

新盆の蓮の入れ物馬に牛もう食べられんばあちゃんの声